

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月2日

上場会社名 **santec株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 6777 URL <http://www.santec.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鄭 台鎬
 問合せ先責任者 (役職名) 業務部管理グループ長 (氏名) 水島 大介 TEL 0568-79-3535
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	589	21.5	△41	ー	△1	ー	△1	ー
25年3月期第1四半期	485	△15.7	△70	ー	△80	ー	△84	ー
(注) 包括利益	26年3月期第1四半期		48百万円 (ー%)		25年3月期第1四半期		△130百万円 (ー%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△0.13	ー
25年3月期第1四半期	△7.06	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
26年3月期第1四半期	8,113	7,138	88.0	596.78	
25年3月期	8,054	7,125	88.5	595.76	
(参考) 自己資本	26年3月期第1四半期		7,138百万円	25年3月期	7,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	ー	0.00	ー	3.00	3.00
26年3月期	ー				
26年3月期(予想)		0.00	ー	4.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,307	46.9	△30	ー	△10	ー	△25	ー	△2.09
通期	3,031	25.8	200	635.5	224	13.5	190	69.5	15.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	11,961,100株	25年3月期	11,961,100株
26年3月期1Q	226株	25年3月期	226株
26年3月期1Q	11,960,874株	25年3月期1Q	11,960,874株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで。以下「当第1四半期」）における世界経済は、米国においては緩やかな景気回復基調となったものの、欧州においては債務・金融危機の影響が継続しており、また、中国等の新興国でも成長鈍化が伝えられるなど、先行き不透明感が拭えない環境が継続しました。一方、日本においては、新政権発足後の経済対策や金融対策などによって、円安・株高が進行し、景気回復への期待が高まっております。

このような中、当社グループは、平成26年3月期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の基本方針として、「高付加価値製品の創出と全社員の成長」を掲げ、高付加価値製品による売上の増強を図りつつ、今後の厳しい市場環境を勝ち抜く実力を全社員が身につけることを目指し、活動を展開しております。

前述のような市場環境を背景に、当第1四半期の売上高は589百万円と、前第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで。以下「前第1四半期」）と比較して21.5%（104百万円）の増加となりました。光通信市場において基幹網への設備投資抑制傾向が継続しており、光通信向け製品が伸び悩みましたものの、一方で、新たな事業の柱として育ちつつあるOCT（= Optical Coherence Tomography. 光の性質を利用して、非破壊断層画像を取得する技術。）製品の売上が増加したことが主な要因です。

粗利率の高い光測定器関連事業製品の売上割合が高まったことにより、当第1四半期の営業損失は41百万円と、前第1四半期の営業損失70百万円に比して改善いたしました。為替差益の発生などにより、経常損失は1百万円と、前第1四半期に比べ大幅に圧縮することとなり、当第1四半期の四半期純損失についても1百万円（前第1四半期は84百万円の純損失）となっております。

セグメントの業績は以下の通りであります。

① 光部品関連事業

当第1四半期の売上高は241百万円と、前第1四半期（240百万円）に比して、ほぼ横ばいとなりました。中長距離向け光部品製品が新技術への端境期に入ったことで、次世代技術の実現まで基幹ネットワークへの設備投資を抑制する動きが継続していることが影響しました。

② 光測定器関連事業

当第1四半期においては、主としてOCT製品の販売が好調となったことにより、売上高は255百万円と、前第1四半期に比して52.4%の増加となりました。光測定器製品につきましては、新興国市場の先行き不透明感などもあって、前第1四半期に比して減少しております。

③ システム・ソリューション関連事業

ソフトウェア販売については、PC遠隔操作ソリューション製品の販売が堅実に成長していることなどから、当第1四半期の売上高は93百万円と、前第1四半期の77百万円に比して20.1%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末（8,054百万円）に比べて58百万円増加し、8,113百万円となりました。これは、棚卸資産の増加などがあったことによるものです。

② 負債

当第1四半期末の負債は、前連結会計年度末（929百万円）に比べて46百万円増加し、975百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加などがあったことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期末の純資産は、前連結会計年度末（7,125百万円）に比べて12百万円増加し、7,138百万円となりました。これは、配当により利益剰余金が減少した一方で、その他有価証券評価差額金の増加及び為替換算調整勘定の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前述の通り、光通信分野におきましては、通信設備投資の必要性は高まっているものの、主力の中長距離向け光部品製品に関連して、投資抑制の動きがあることから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くと考えております。当社グループは、このような環境のもと、少しでも早く市場の求める新製品を開発し、市場に提供することを目指すと共に、光通信分野以外の市場を開拓し、光技術のパイオニアとして光の可能性を更に高め、将来の成長に向けて全力を尽くしてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,722,663	1,783,621
受取手形及び売掛金	933,429	779,581
有価証券	5,073	108,516
商品及び製品	164,830	189,975
仕掛品	45,919	62,591
原材料	162,978	203,599
その他	99,318	34,724
流動資産合計	3,134,213	3,162,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,796,416	1,777,539
機械装置及び運搬具(純額)	650	2,650
土地	1,621,858	1,621,858
その他(純額)	44,760	46,272
有形固定資産合計	3,463,685	3,448,320
無形固定資産	86,727	85,609
投資その他の資産		
投資有価証券	1,342,779	1,390,073
その他	27,448	27,060
投資その他の資産合計	1,370,228	1,417,133
固定資産合計	4,920,641	4,951,063
資産合計	8,054,855	8,113,673

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,909	322,571
未払法人税等	24,797	7,109
賞与引当金	15,803	57,467
その他	225,099	160,294
流動負債合計	506,610	547,443
固定負債		
退職給付引当金	310,741	307,559
資産除去債務	11,106	11,170
その他	100,604	109,493
固定負債合計	422,452	428,223
負債合計	929,062	975,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	742,720	705,258
自己株式	△80	△80
株主資本合計	6,930,671	6,893,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	274,626	309,668
為替換算調整勘定	△79,505	△64,870
その他の包括利益累計額合計	195,120	244,797
純資産合計	7,125,792	7,138,007
負債純資産合計	8,054,855	8,113,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	485,571	589,955
売上原価	287,864	344,060
売上総利益	197,706	245,894
販売費及び一般管理費	268,017	287,361
営業損失(△)	△70,310	△41,467
営業外収益		
受取利息	8,286	12,822
受取配当金	5,703	8,302
為替差益	—	25,148
助成金収入	8,856	—
その他	5,588	9,444
営業外収益合計	28,435	55,718
営業外費用		
支払利息	18	—
為替差損	28,709	—
休止固定資産関係費用	6,079	5,942
不動産賃貸費用	3,811	4,819
その他	112	5,051
営業外費用合計	38,730	15,813
経常損失(△)	△80,604	△1,562
特別利益		
投資有価証券償還益	—	1,527
特別利益合計	—	1,527
特別損失		
固定資産除却損	34	—
特別損失合計	34	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△80,639	△35
法人税等	3,757	1,543
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△84,397	△1,579
四半期純損失(△)	△84,397	△1,579

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△84,397	△1,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,612	35,041
為替換算調整勘定	△9,190	14,634
その他の包括利益合計	△45,803	49,676
四半期包括利益	△130,201	48,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△130,201	48,097
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	240,102	167,641	77,827	485,571
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	240,102	167,641	77,827	485,571
セグメント利益又は損失(△)	△7,036	△66,282	3,009	△70,310

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	241,098	255,406	93,450	589,955
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	241,098	255,406	93,450	589,955
セグメント利益又は損失(△)	△46,683	△12,476	17,691	△41,467

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。